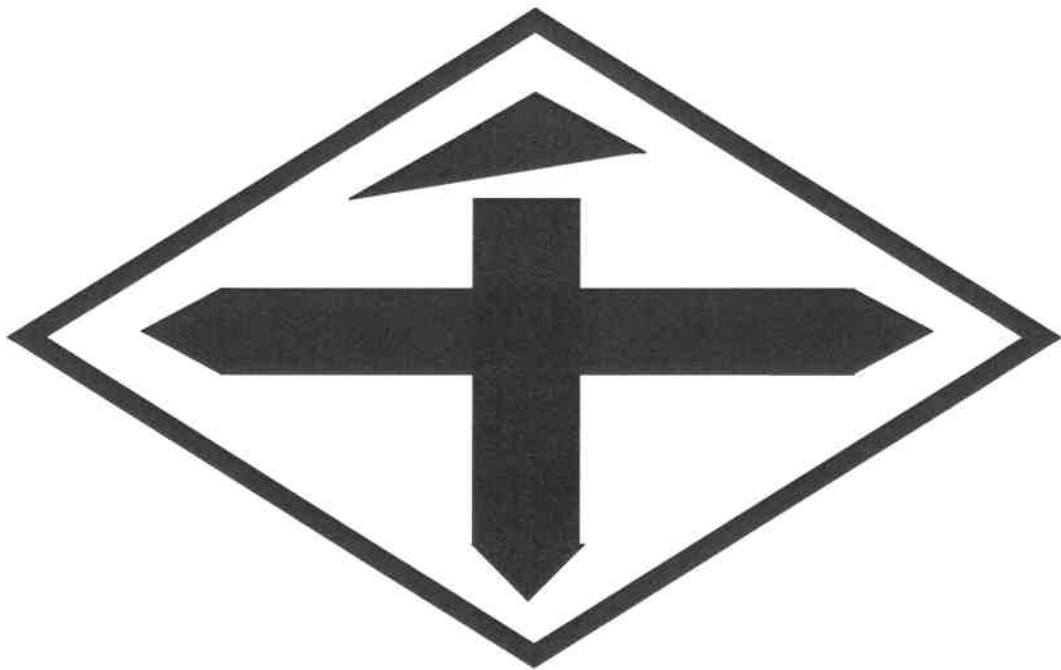


令和7年度

前期学校評価結果報告



八幡浜市立千丈小学校

令和7年度 前期学校評価アンケートまとめ

1 各項目についての考察

(1) 「つながり、伝え合い、心豊かに生きる児童の育成」について

児童、保護者ともに、「楽しく学校に通う」という観点では肯定率が高い。多くの児童が安定した学校生活を送ることができていることが分かるが、今後も油断することなくアンテナを張り、個別の悩みやつまずきに対する支援の徹底を心掛ける。

(2) 『『分かる』『考える』『伸びる』を実感できる授業と学習指導』について

授業については、児童の評価からはおおむね肯定率が高くなっている。対話や体験を大切に取り組み、分かりやすく楽しい授業を目指して取り組んできた結果と考えられる。しかし、家庭での学習や読書については、保護者の評価は非常に低く、記述欄に改善要望も挙がっているため、読書の日（月曜日）や自主学習などの取組について、再度教職員間で共通理解を図り、指導や啓発の方法について検討し、徹底を図っていく。

(3) 「主体的・対話的で深い学び」による思考力・判断力・表現力の育成について

I C Tを適度に活用することで、アナログとデジタルをバランスよく取り入れた学習が、教師にも児童にも定着し、表現する意欲を高めたり理解を促進したりすることができている。タブレットを使ったドリル学習や記録の累積などにより、自他の伸びを確認し合うことが学習意欲の向上にもつながってきている。今後も継続的に、児童が自分の考え方や思いを生かし、より主体的・対話的な学習活動となるように工夫・改善を行っていききたい。

(4) 「命を大切にせる教育の推進」について

1学期は、地震と津波を想定した垂直避難の訓練と、保護者と連携をした引き渡し訓練を実施した。学校外等で地震が起こった際の対応に関する項目のポイントが、児童 1.79、保護者 1.90 と評価が低めである。災害時の対応について、発達段階に応じた防災教育の工夫を図っていく必要がある。ゲームやSNSの利用に関する保護者の回答が低めになっており、児童の意識と格差がある。これまで以上に、家庭との連携を密にしていく必要がある。

(5) 「児童一人一人のよさや可能性を伸ばす教育の推進」について

児童、保護者ともに、教職員との信頼関係はおおむね良好だと言える。しかし、保護者の回答には若干のマイナス評価が見られる。現状に慢心することなく、児童の言動や表情など小さな変化を見逃がさず、気持ちに寄り添った教育活動を積み重ね、児童のよさや可能性を伸ばせるよう、更に改善を図っていく。

(6) 「家庭・地域とともに連携・協働」について

挨拶については、児童も保護者も肯定率がとても高い。引き続き千丈っ子にこにこ宣言の「だれにでも明るく元気なあいさつをします」について、全員が実践できるように、学校運営協議会とも連携しながら挨拶運動を盛り上げていきたい。

お手伝いについて、児童と保護者の回答結果に格差がある。児童はお手伝いをしている気持ちがあるが、保護者にとっては満足のいく内容ではないのだろうか。積極的にお手伝いを頑張っている児童を学級通信で紹介したり、休日にはお手伝いの宿題を出したりするなど工夫し、習慣化できるよう工夫をする。

2 今後の目標と対策

(1) 目標

後期学校評価アンケートでのプラス評価、「1…思う」「2…まあまあそう思う」の割合が増えるように各項目の課題をしっかりと洗い出し、よりよくなるように努力する。

<児 童>評価数値目標 平均 1.20 未満 (R 6 後期 1.33 R 7 前期 1.25)

<保護者>評価数値目標 平均 1.50 未満 (R 6 後期 1.66 R 7 前期 1.65)

(2) 対策

学校評価アンケートで、肯定率が低い項目を改善できるよう、それらを意識した指導を日々継続していく。特に 1.5 以上の項目については、力を入れて教育活動を展開する。

<児 童>①手伝いの実践 1.54 ②災害時の対応 1.49 ③授業への取り組み方 1.48

<保護者>①家庭読書週間 2.22 ②手伝いの実践 2.15

③災害時の対応 1.97 ③ゲームやSNSとの付き合い方 1.97

令和7年度 教育計画に基づいた考察

はい  いいえ

	1	2	3	4	計	平均
1 つながり、伝え合い、心豊かに生きる児童の育成						
児1 学校に行くのは、楽しい。	54	13	0	0	67	1.19
保1 お子様は、楽しく学校に通っている。	45	19	1	0	65	1.32
児童、保護者ともに「楽しい」「楽しく通っている」との回答であった。引き続き学校生活での言動や児童の様子等から悩み等を把握し、家庭と連携しながら、個別支援に努める。						

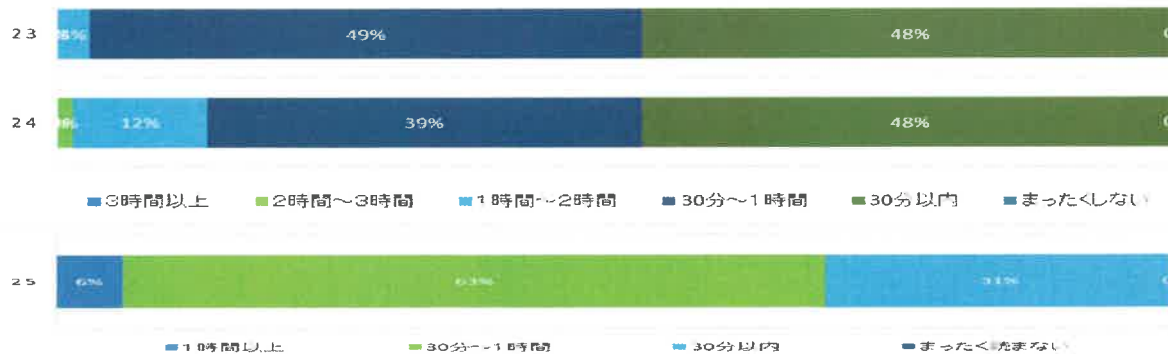
2 「分かる」「考える」「伸びる」を実感できる授業と学習指導						
児2 授業には、楽しく参加している。	48	18	0	1	67	1.31
児3 授業は、分かりやすい。	46	21	0	0	67	1.31
児19 家で、毎日、宿題や自主学習などの勉強をがんばっている。	54	12	1	0	67	1.21
児23 平日（月～金）の家庭学習時間はどれくらいですか。（塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。）	【下のグラフを参照】					
児24 休日（土、日、祝日）の家庭学習時間はどれくらいですか。（塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。）						
児25 読書の日（月曜日）には、どれくらいの時間、本を読んでいますか。						
保2 学校は、基礎学力の定着と学力向上に努めている。	39	24	2	0	65	1.43
保16 お子様は、読書の日（月曜日）には、本を読んでいる。	14	27	20	4	65	2.22
保17 お子様は、宿題や自主学習（予習・復習等）をする習慣を身に付けている。	23	34	8	0	65	1.77

児19保17

児童の自主学習への取組について、児童の自己評価は1.21と肯定率が高い。引き続き児童の頑張りを友達や家庭にも分かるよう、相互紹介や学級通信などで積極的に伝えていく。個別に見ていくと、取組が十分でない児童も見られるので、つまずきや家庭での状況を個別に把握して指導に生かしていく。保護者の評価は1.77と児童に比べると低く、家庭と連携しながら、習慣化に向けた支援をしていく。

保16

月曜日（ノーゲーム・ノーネットデー）が読書の日としているが、昨年度後期2.16であったのが、やや下がり2.22となっている。学校では、様々な本を手に取り読書をしているが、家庭では読む習慣が定着していない児童もいるようだ。保護者からの意見として、学校からの呼び掛けや工夫が不足しているとの声も上がっている。再度、研修部を中心として各学年の実態や発達段階に応じた啓発や工夫をすることで、改善を図っていく。



3 主体的・対話的で深い学びによる思考力・判断力・表現力の育成							
児4	授業で意欲的に自分の思いや考えを発表したりノートに書いたりしている。	39	24	4	0	67	1.48
児5	授業では、学級の友達と話し合う活動（ペア・グループ）をよくしている。	55	22	1	0	67	1.22
児6	授業では、chromebook（クロムブック）をよく使っている。	52	11	3	1	67	1.30
児7	chromebook（クロムブック）の使い方は分かる。（教えてもらった場合も含む）	62	5	0	0	67	1.07
児4～児7 肯定率が高いが、意欲が低かったり自信がなかったりする数名の児童への支援をしていく。							

4 命を大切にする教育の推進（心の教育・防災教育・情報教育）							
児9	言葉づかいに気を付けて、友達と、話したり、遊んだりしている。	45	15	3	0	67	1.31
児10	友達に優しく接している。（同じ学年の友達だけでなく他の学年の友達も含む）	54	11	2	0	67	1.22
児11	学校のきまりが、守れている。	53	13	1	0	67	1.22
児12	学校では、自分や友達の安全に気をつけて行動している。	60	7	0	0	67	1.10
児13	学校で地震や火事が起こったとき、どういう行動をとればいいのか分かっている。	59	7	1	0	67	1.13
児22	家の人がいないときに、地震などの災害が起こったとき、どうすればいいか話をしている。	41	21	3	2	67	1.49
児20	家で、ゲームやSNSのきまりを守って遊んでいる。	58	9	0	0	67	1.13
保4	学校は、言葉遣いや規範意識を高めるための指導に努めている。	31	32	2	0	65	1.55
保5	学校は、児童の安全確保や施設・設備の安全管理ができています。（感染予防対策の徹底と適切な対応を含む。）	40	25	0	0	65	1.42
保6	学校は、自分や他の人の命を大切にする教育（心の教育・人権教育・防災教育・情報教育・交通安全教育）の推進に努めている。	36	27	2	0	65	1.48
保7	学校は、校報やホームページ、学級通信等で情報を伝えている。	40	24	1	0	65	1.40
保11	お子様は、明るく思いやりのある子に育っている。	27	37	1	0	65	1.60
保12	お子様は、正しく判断し行動できる子に育っている。	21	51	5	0	65	1.65
保18	お子様は、ゲームやSNSについて、学校や家庭のルールを守って利用している。	19	30	15	1	65	1.97
保19	地震等の災害が起こった場合の対応を、お子様と話し合っている。（避難場所、連絡方法、保護者不在時の対応等）	16	36	12	1	65	1.97

児9 児11 保4 保12

規範意識や正しい判断力の育成について保護者の評価が、否定的とはいええないまでも、他の項目に比べ低めである。学校での生徒指導や道徳教育の取組について積極的に紹介するとともに、児童の実践力を高めるための指導の工夫・改善が必要である。

児20 保18

ゲームやSNSの利用時間やルールについて数値を見ると、保護者の肯定率が低めの評価である。児童の実態を把握・分析し、家庭でのルールの徹底を促すとともに、個別対応が必要な児童については家庭と連携しながら、指導していく。

児22 保19

学校外等で地震が起こった際の対応に関する項目のポイントが、児童1.79、保護者1.90と評価が低めである。災害時の対応について、発達段階に応じた防災教育の工夫を図っていく必要がある。

5 児童一人一人のよさや可能性を伸ばす教育の推進（「ぜったいにあきらめませんじょう！」）							
児14	先生は、あなたのことに、気をつけてくれている。	60	7	0	0	67	1.10
児15	困ったことやいやなことがあったとき、先生に頼ったり、相談したりすることができる。	54	10	2	1	67	1.25
児16	むずかしいことがあっても、自分のめあてに向かって、粘り強くがんばっている。	55	12	0	0	67	1.18
保8	教職員は、一人一人のお子様の理解に努めている。	33	29	3	0	65	1.54
保9	お子様と教職員は、良好な信頼関係を築いている。	32	28	5	0	65	1.58
保10	お子様は、めあてに向かって粘り強くがんばる子に育っている。	23	40	2	0	65	1.68

保8保9

児童、保護者ともに、教職員との信頼関係はおおむね良好だと言えるが、保護者の回答には若干のマイナス評価が見られる。現状に慢心することなく、児童の言動や表情など小さな変化を見逃がさず、気持ちに寄り添った教育活動を積み重ね、児童のよさや可能性を伸ばせるよう、更に改善を図っていく。

児14児15

昨年度の前期・後期よりも肯定率が高いが、マイナス回答はゼロではない。児童一人一人を見つめしっかりと児童のよさや可能性を伸ばせるよう努める。

児16保10

児童の自己評価に比べ、保護者の評価が厳しめである。児童の頑張りをしっかりと家庭に伝えていく。学校では弱音を吐くことができずにいることも考えられるため、しっかりと家庭と連絡を取り合う努力をしていく。

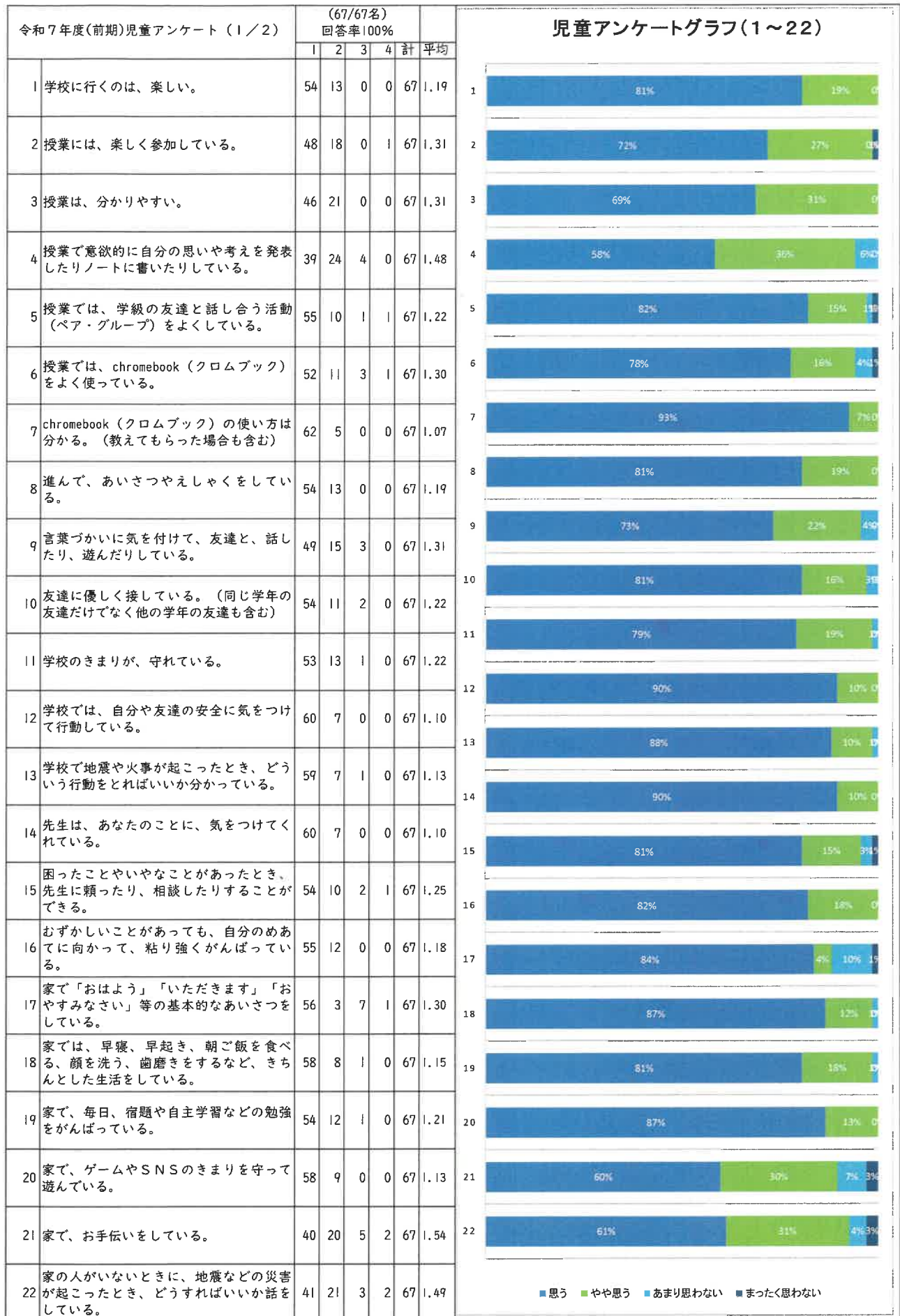
6 家庭・地域とともに連携・協働（基本的な生活習慣の育成、返事・挨拶、お手伝い）							
児8	進んで、あいさつやえしやくをしている。	54	13	0	0	67	1.19
児17	家で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	56	3	7	1	67	1.30
児18	家では、早寝、早起き、朝ご飯を食べる、顔を洗う、歯磨きをするなど、きちんとした生活をしている。	58	8	1	0	67	1.15
児21	家で、お手伝いをしている。	40	20	5	2	67	1.54
保13	お子様は、家庭で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	39	24	2	0	65	1.43
保14	お子様は、早寝、早起き、朝ご飯、洗顔、歯磨き等の基本的な生活習慣が身に付いている。	17	45	3	0	65	1.78
保15	お子様は、家で手伝いをしている。	11	36	15	3	65	2.15

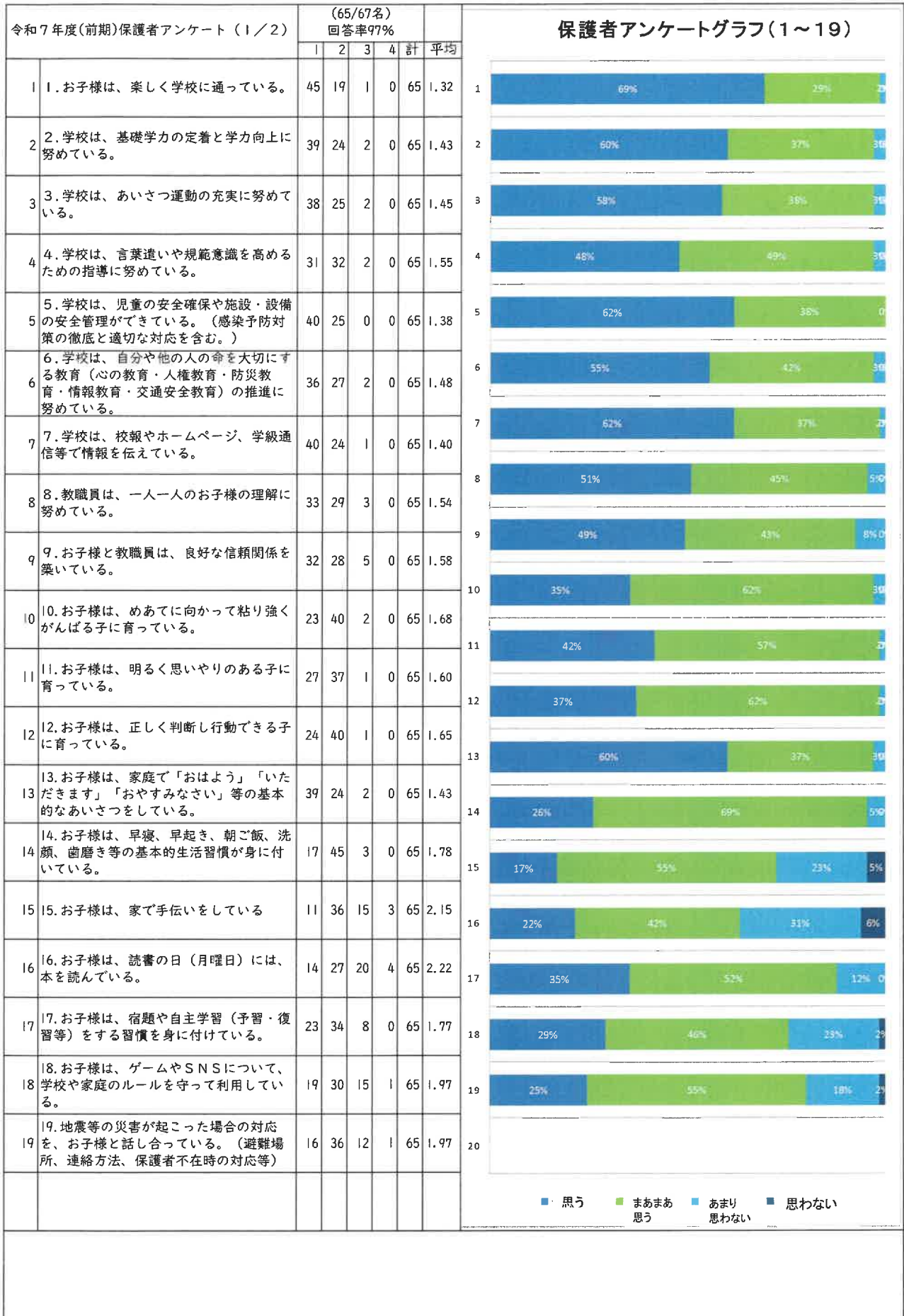
児8保13

挨拶については、児童も保護者も肯定率がとても高い。引き続き千丈っ子にこにこ宣言の「だれにでも明るく元気なあいさつをします」について、全員が実践できるように、挨拶運動を盛り上げていきたい。

児21保15

お手伝いについて、児童と保護者の回答結果に格差がある。児童はお手伝いをしている気持ちがあるが、保護者にとっては満足のいく内容ではないのだろうか。積極的にお手伝いを頑張っている児童を学級通信で紹介したり、休日にはお手伝いの宿題を出したりするなど工夫し、習慣化できるよう工夫をする。





学校教育をよりよいものにするために、参考にさせていただきます。学校に対するご要望、ご提案、ご意見等ありましたらご自由に、お書きください。

★学校からの回答

●休日の過ごし方についてのチェックシートや歯磨きチェックシートなど、家庭への干渉が多い気がする。子供への指導は、学校でも家庭でももちろん必要だと思うが、親がチェックする事が多いので負担に思うことがある。

↓↓↓↓↓

★お忙しい中いつもご協力いただきありがとうございます。ご家庭の負担過重とならぬよう、協議してみます。

●運動会のダンスの立ち位置など、過去の先生の時は事前に学級通信を通してお知らせがあり、当日写真を撮るときにとっても助かりました。今年はそれがなかったのがわが子からの説明でどうにか写真を撮りました。その点配慮してもらえると、運動会当日、観覧にきた祖父母にも子の立ち位置を伝えやすくなるので助かります。

↓↓↓↓↓

★可能な範囲で事前にお知らせするように心掛けます。

●千丈小学校として月曜日を読書の日として設定しているのであれば、先生方からももっと子どもたちに伝えてほしいです。親が声をかけてようやく読書をする感じになっています。子が初めて小学生になった保護者は千丈小学校が月曜日を読書の日として設定していることすらも知らないのではないのでしょうか。毎年、保護者への周知もすべきだと思います。上の子のときは月曜日の宿題として、「読書」があったので、自らすすんで読書をしていました。それを続けたことで読書が習慣として身につく、よく読書をするようになったと思います。読書が学校評価アンケートにある項目ならば、もっと力を入れて取り組むべきではないでしょうか。

↓↓↓↓↓

★児童への啓発の仕方を再度協議し、工夫・改善していきます。

●雨の日の部活、雨の中泳いでいるのか、体育館でトレーニングしているのか、メールやホームページで知らせてほしい。

↓↓↓↓↓

★個別に電話にて学校にお問い合わせください。お答えいたします。

●夏休みのプール開放、子供はもちろん、保護者の熱中症予防のため、中止しているところが増えているが、千丈ももう一度見直してほしい。よろしくお願いします。

↓↓↓↓↓

★他校のプール開放の状況は本校でも把握しております。その上で、本校児童の利用率等を踏まえて、PTA本部役員会の協議により実施を決定しています。今のところ来年度も実施する予定ですが、必要であれば、PTA総会の協議議題に取り上げ、会員全員のご意見を問うことも可能です。

令和7年度(前期)教職員アンケート		(11人/11人)				
		100%				
		1	2	3	4	計
1	1. 学校の教育目標【「つよく、やさしく、きまりよく生きる」千丈の子を育てる】の達成に向けて、指導や支援に努めたか。	10	1	0	0	11
2	2. 学習指導において、基礎・基本の確実な定着・向上に努めたか。	10	1	0	0	11
3	3. 分かりやすい授業を心掛け、授業改善に努めたか。	6	4	0	0	10
4	4. つながり、伝え合い、心豊かに生きる児童の育成(研究主題)に努めたか。	6	5	0	0	11
5	5. 教育活動中でのICT機器の効果的な活用に努めたか。	5	6	0	0	11
6	6. 命を大切にする教育の推進(心の教育・防災教育・情報教育・交通安全教育)に努めたか。	11	0	0	0	11
7	7. 教師自身が明るくさわやかな挨拶や返事をするを心掛けるとともに、児童への挨拶や返事の指導に努めたか。	10	1	0	0	11
8	8. 児童の間違った行動に対して、毅然とした態度で指導するように努めたか。	10	1	0	0	11
9	9. 人権・同和教育の充実・改善に努め、児童が豊かな心をもてるよう、指導や支援に努めたか。	8	3	0	0	11
10	10. 児童の自尊感情を高めるために、一人一人を大切にする指導や支援に努めたか。	10	1	0	0	11
11	11. 生徒指導上の問題(いじめ、非行、不登校等)の未然防止に向けた指導や支援に努めたか。	10	1	0	0	11
12	12. 安全な学校環境作りに努めたか。	9	2	0	0	11
13	13. 危機管理意識をもち、子どもの安全確保に努めたか。(新型コロナや熱中症の対応も含む)	8	3	0	0	11
14	14. 児童は、「めあてに向かって粘り強くがんばる子」に育っている。	9	1	1	0	11
15	15. 児童は、「明るく思いやりのある子」に育っている。	9	2	0	0	11
16	16. 児童は、「正しく判断し行動できる子」に育っている。	5	6	0	0	11
17	17. 家庭と連携し、児童の学力向上や基本的な生活習慣の育成に努めたか。	8	3	0	0	11
18	18. 家庭と連携し、生徒指導上の問題についての早期対応に努めたか。	9	2	0	0	11
19	19. 家庭・地域と連携をとり、信頼される学校作りに努めたか。	7	4	0	0	11
20	20. ワークライフバランスを考え、家庭と仕事の両立に努めたか。	5	6	0	0	11
21	21. 働き方改革の意識をもち、業務改善、負担軽減となるよう努めたか。	7	3	1	0	11
22	22. 公文書や表簿類の適切な保管や正確かつ迅速な事務処理に努めたか。	8	3	0	0	11

教職員アンケートグラフ(1～22)



教育計画に基づいた番号	
	学校目標・校訓 (1 14 15 16)
	学習指導 (2 3 4 5)
	心の教育 (6 9 10)
	生徒指導 (7 8 11)
	安全・安心 (12 13)
	家庭との連携 (17 18 19)
	働き方改革 (20 21)
	事務管理 (22)
	考察 ・どの項目においても、8～9割教職員が肯定的な回答となっている、落ち着いて教育活動を進めることができていえる。 ・校訓のめざす子ども像に関して、「めあてに向かって粘り強く頑張る子」は否定的回答があり、「正しく判断し行動できる子」は、ポイントが低めである。改めて児童一人一人を見つめ直し、よいところと課題をしっかり洗い出した上で指導に生かしていきたい。 ・家庭との連携や生徒指導事例、児童の健康管理等については、教職員全員、さらには学校運営協議会で情報を共有し、チームでよりよい方法を考え、実践に移していくことを心掛ける。 ・ワークライフバランスや働き方改革については、肯定的な回答が多いが、否定的な回答もゼロではない。休日の部活動指導や複数の校務分掌を担当するなど負担に感じる原因はいくつか考えられる。再度業務の精選や活動内容の改善等を行い、負担感の軽減を図ることで気持ちにゆとりを持って児童と接することができるようにしていく。 ・教職員同士がそれぞれの立場や担当校務、学校での業務内容等に関して互いにリスペクトし、助け合い・支え合いの精神に基づいて行動することにより、教職員自身の健康や家庭を大切にする。